

教育プログラム・コースの概要

大学名等	京都大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	小児とAYA世代のがんの新規診断・治療法開発を目指す医療人養成コース						
対象者	医学専攻博士課程						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	小児・AYA世代のがんにおける腫瘍生物学と最新の診断技術／治療戦略に精通した上で、さらなる治癒率向上を目指した新規診断法開発や、効果的でより合併症の少ない治療法開発をも遂行できる医療人を養成する。						
修了要件・履修方法	医学研究科に4年以上在学し、分野科目から24単位以上、大学院教育コース「腫瘍学コース」、「ゲノム・オミックス統計解析コース」、「医工情報学連携コース」、「再生医療・臓器再建医学コース」のいずれかのコース科目より6単位以上の合計30単位以上を修得し、研究指導を受け、かつ、医学研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格すること。						
履修科目等	「腫瘍学コース」、「ゲノム・オミックス統計解析コース」、「医工情報学連携コース」、「再生医療・臓器再建医学コース」のいずれかのコース科目より6単位 講義：ゲノム医学（3単位）、腫瘍生物学、臨床腫瘍学（2単位） チーム医療教育：小児科血液腫瘍カンファレンス、小児脳腫瘍カンファレンス、BMTカンファレンス						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	当院は小児がん拠点病院であり、全ての小児血液・がん疾患に対応していることから、幅広い診断法、治療法を体得することが可能である。また、小児科スタッフは全国組織であるJCCG（日本小児がんグループ）において、各種疾患委員や中央診断委員を務めていることから、最先端の診断、治療戦略に明るく、臨床におけるニーズからの研究に結びつけやすい。さらに、医学研究科人間健康科学系専攻の研究室と連携した基礎研究を推進しており、最先端の診断、治療を目指す医療人養成が可能である。						
指導体制	小児科血液腫瘍グループスタッフ（小児血液・がん専門医、血液専門医）および京大人間健康科学系専攻スタッフが連携をとりながら、臨床におけるon the job training、基礎研究、論文指導などを行う						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	小児血液がん専門医・指導医 国内外の血液・がんの研究機関へのポスドク留学						
受入開始時期	平成29年6月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医学専攻博士課程	2	2	2	2	2	10
	計	2	2	2	2	2	10